

授業科目名	文章読解と表現		担当教員名	後藤 正治 吉島 一彦 中 真生 梶 さやか 伊多波 宗周		
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
教養教育科目	必修	1	1	春学期	水・1 水・2 木・1 木・2 金・1 金・2	演習
授業概要						
<p>文章を読み理解すること、文章を通して自身の意思を書き記すことは、あらゆる活動の基礎になる行為です。とりわけ、きちんとした日本語が書けることが大切です。本授業では、具体的な演習を通して、文章の読解力と表現力の向上をはかります。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く上でのルール(句点・読点、改行、1字下げなど)を習得すること。 論理的で明瞭な文章力を養うこと。 講義時間内に原稿用紙3枚(1200字)程度の文章が書けること。 						
授業方法(展開)						
<ul style="list-style-type: none"> 原稿用紙(学校側で用意)に鉛筆で手書きという「手作り方式」で行ないます。 演習素材を提示し、要約、感想、批評などの作文を行ないます。 書いたものは次回の授業で問題点を指摘し、適宜、添削して返却します。 						
関連科目・知識・スキル						
新聞・雑誌・書物など、活字に親しむ機会を増やすことを奨励します。						
成績評価						
文章力の向上と改善をもって評価します。最終講義で演題を提示してテストを実施します。						
教科書・参考書など						
特にありませんが、日本語の読解・表現にかかわる関連書物を読むことを歓迎します。						
履修上の注意事項						
国語辞書を持参のこと(電子辞書の使用もかまいません)。						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

(オリエンテーション)

講義の進め方と大まかな内容、留意すべき点について説明します。

(授業の予定項目)

- ・自己紹介文を書くこと。
- ・日常の話し言葉を書き言葉に書き直すこと。
- ・コラムなどを書き写すこと。
- ・漢字・熟語・言い回しなどの間違いを直すこと。
- ・手紙を書くこと。
- ・エッセイなどを読んで感想を書くこと。
- ・旅や思い出について書くこと。
- ・新聞の社説等について要約し、自身の意見を書くこと。
- ・映像ビデオを見て感想を書くこと。
- ・朗読を聞いて感想を書くこと。
- ・意見の対立する問題について双方の主張をまとめ、自身の意見を書くことなど。

学生への一言

文章の上手・下手は問いません。また、誤字や間違いを怖れる必要は少しもありません。書く作業においては、人は誰もミスをします。そして、間違いに気づくことを通して、少しずつ文章力は向上していくものです。チャレンジする気持で授業に参加してください。